

- 1 開会
- 2 報告
新型コロナウイルス感染症の発生状況等について 資料1
- 3 協議事項
盛岡市における新型コロナウイルス感染症状況対照表 資料2
- 4 その他
- 5 本部長指示
- 6 閉会

新型コロナウイルス感染症の発生状況について

資料 1
令和 3 年 6 月 15 日
新型コロナウイルス感染症
対策本部事務局

1 趣旨

全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、大都市圏を中心とした緊急事態宣言等が5月31日まで延長されたほか、変異種による感染が拡大傾向にある。

本市においては、令和2年7月に、市内で初めての新型コロナウイルス感染症患者が確認され、11月には初のクラスターが発生したものの、市民と事業者の皆様より、感染拡大防止の取組への一層の協力が得られた結果として、2月には感染者は大幅に減少した。

しかし、令和3年4月から再び感染者が増加傾向となり、特に市内中心部の繁華街での飲酒を伴う会食による感染例が多く確認されるなど、令和2年11月から12月にかけて発生した感染の連鎖に酷似した状況が発生していることから、引き続き、市全体として感染拡大防止に向けた精力的な取組が求められているところである。

2 感染症の発生状況

現時点の感染状況等について、報告するもの。

(1) 国内の状況

国内発生数等（チャーター便帰国者を除く）（6月14日公表）

PCR検査 実施者数	陽性者数	入院治療等を要する数		退院又は療養 解除者数	死亡者数	確認中
			重症者数			
1543万1320	77万5231	3万590	849	73万446	1万4071	2148

- ・3月中旬以降、感染の再拡大が見られたが、5月中旬から横ばい又は減少傾向。沖縄県、北海道は高止まり。
- ・緊急事態宣言が東京都、大阪府、京都府、兵庫県、愛知県、福岡県、北海道、岡山県、広島県、沖縄県（～6/20）に発令。
- ・まん延防止等重点措置を岐阜県、三重県、埼玉県、千葉県、神奈川県（～6/20）、群馬県、石川県、熊本県（～6/13）に適用。
- ・国内の新規感染者数の4割強を首都圏及び関西圏が占める。

(2) 東北各県発生数（6月14日公表）

青森県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
2448	9030	763	2009	4714

- ・東北各県（岩手県を除く。）において、増加傾向から横ばい又は減少傾向。
- ・変異株が増加している。

(3) 岩手県内発生数等 ア 発生数等（6月15日公表）

PCR検査 実施者数	陽性者数	入院治療等を要する数		退院又は療 養解除者数	死亡者数
			重症者数		
6万1911	1606	111	0	1446	46

- ・連休明け以降増加傾向から、一旦5月末に減少傾向になったが、6月に入り横ばい又は増加傾向のきざし。変異株の比率増加。
- ・5月中旬以降、盛岡市近郊においては飲食店関係でのクラスターが多発。感染の連鎖が発生。

(4) 県内全般の感染状況の評価

ステージⅡ（5月7日県対策本部会議）

【参 考】

医療提供体制等の状況
厚労省HP
（6月4日00:00現在）

区分	医療提供体制等の負荷				感染の状況			参考
	病床ひっ迫具合			療養者数 (10万人 当たり)	P C R 陽性率 (1 週間 平均)	新規感染者 (10万人 当たり) (週)	感染経路 不明割合	直近 1 週間 とその前 1 週間の比
	入院医療		重症者用病床					
	確保病床 使用率	入院率	確保病床 使用率 [重症患者]					
ステージⅢ	20	40	20	20	5	15	50	<div></div>
ステージⅣ	50	25	50	30	10	25		
岩手県	21.7	61.8	4.4	10.0	2.6	6.19	51.10	0.79
全国	40.8	30.4	34.0	37.8	4.3	16.71	47.00	0.69
宮城県	21.7	44.5	15.6	7.5	2.4	5.12	65.00	0.89
東京都	33.9	41.2	41.8	33.7	4.5	23.90	60.00	0.81
大阪府	52.6	16.8	40.0	95.5	3.0	16.36	55.00	0.63

- ステージⅠ【感染者が散発的に発生】
- ステージⅡ【感染者の漸増】
- ステージⅢ【感染者の急増】
- ステージⅣ【爆発的な感染拡大】

・県内は、医療提供体制等に特段の問題はないが、確保病床使用率が増加傾向である。

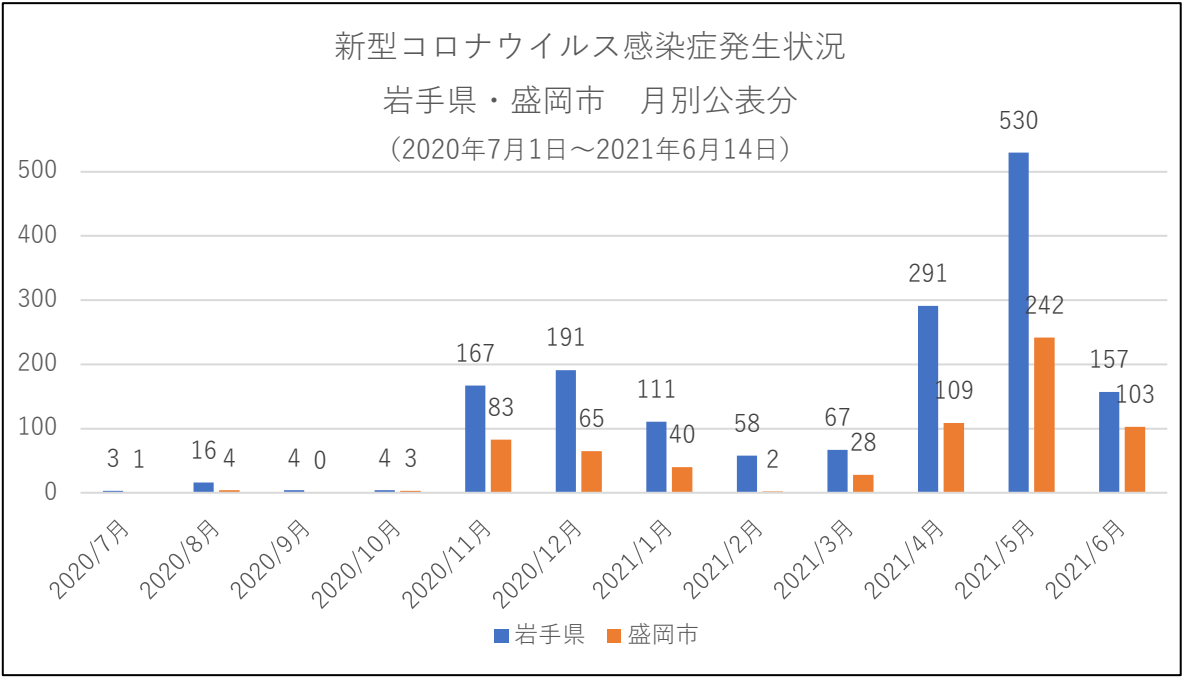
(5) 盛岡市内発生数等

ア 発生数等（6月14日公表）

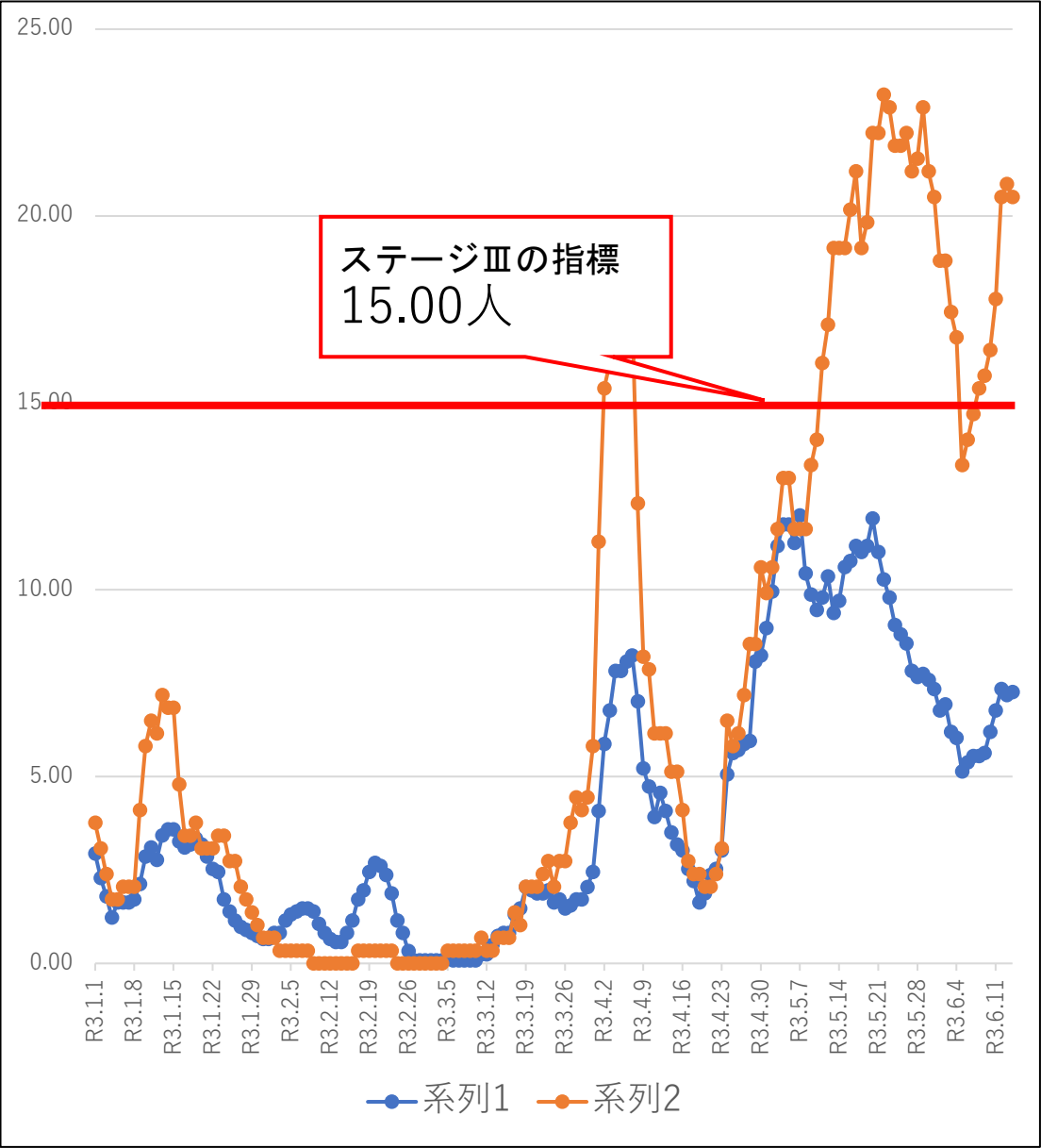
陽性者数	入院治療等を要する数		退院又は療養解除者数	死亡者数
	重症者数			
683	62	0	598	18

・5月中旬以降、行動歴に飲酒を伴う会食のある新規感染者が増加。また、接待を伴う飲食店等の感染経路不明の複数のクラスターが発生し、市中感染が起きていると判断されることから、予断が許されない状況である。

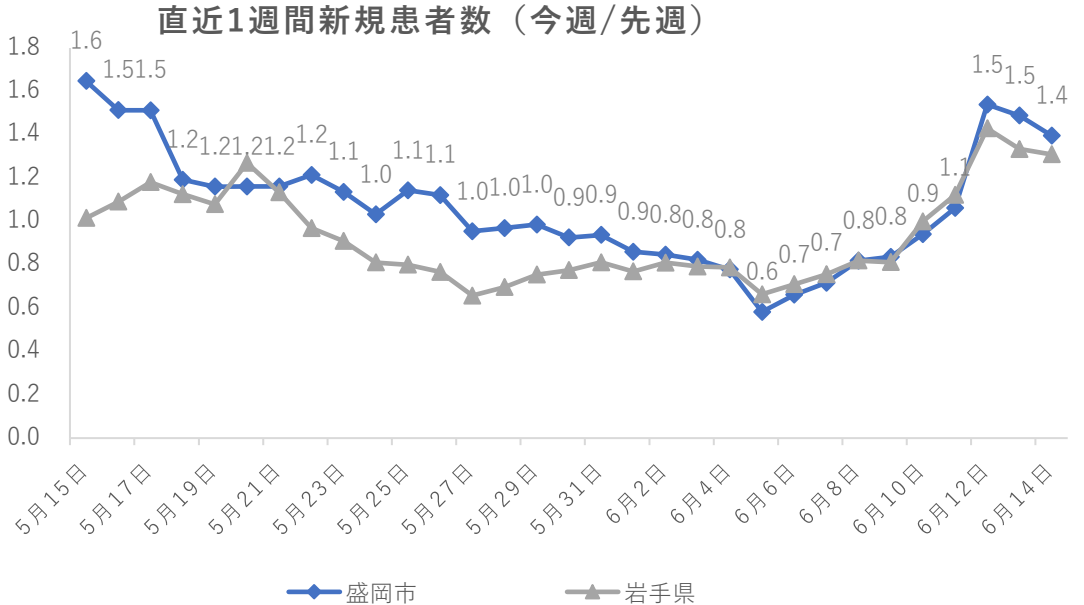
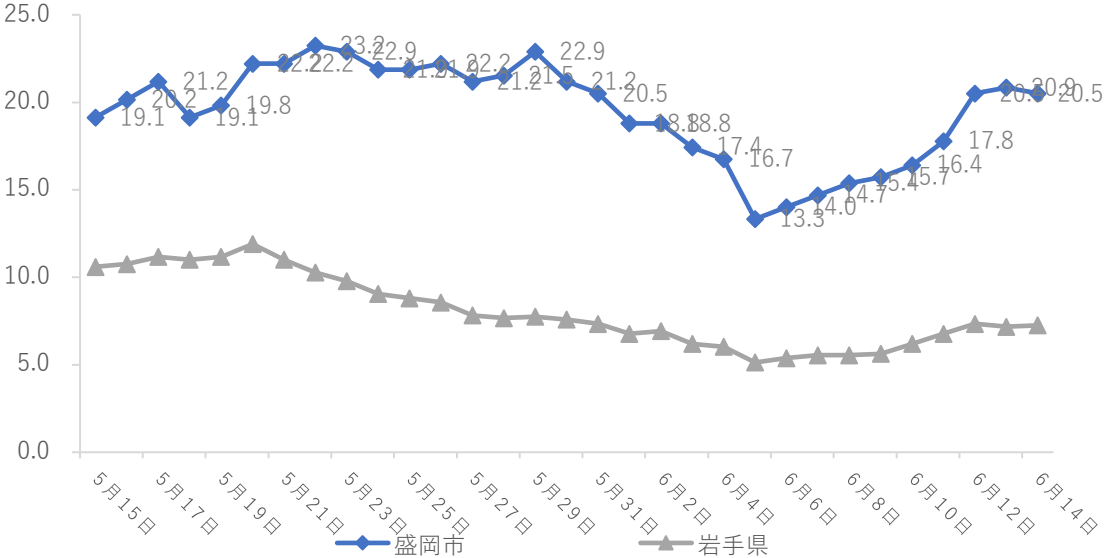
イ 発生状況の推移



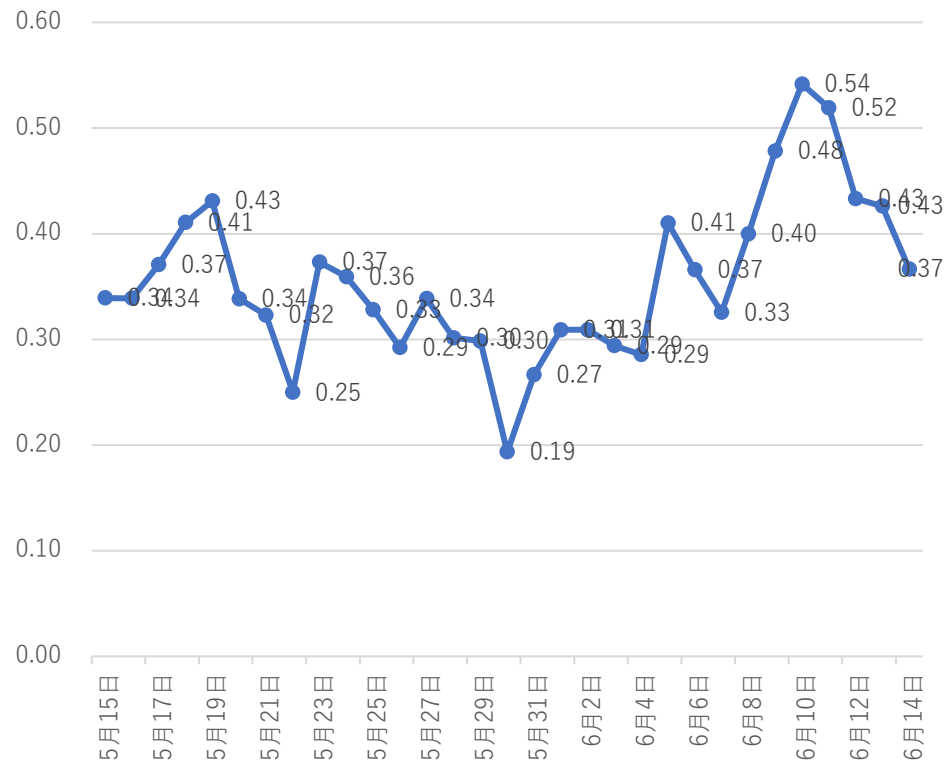
ウ 岩手県・盛岡市の直近1週間の新規患者数（人口10万人対）
令和3年1月1日～令和3年6月14日



エ 岩手県・盛岡市の直近1週間の新規患者数（人口10万人対）
令和3年5月15日～令和3年6月14日



オ 直近 1 週間の新規患者のうち感染経路不明である数
/直近 1 週間の新規患者(盛岡市分のみ)



盛岡市における新型コロナウイルス感染状況対照表（案）

		フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3	フェーズ 4
相当するステージ （国分科会提言）		I 医療提供体制等に特段の支障がない段階	II 感染者の漸増及び医療提供体制等への負荷が蓄積する段階	III 感染者の急増及び医療提供体制等における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階	IV 爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制等の機能不全を避けるための対応が必要な段階
指 標 ^{※1} （目安） ※盛岡市・盛岡医療圏における右記指標①②③を目安とし、直近の患者発生状況を考慮し、総合的に判断する	①直近 1 週間の新規患者数 （/10万人/週）	フェーズ 2 の目安を満たさない場合	概ね 5 以上	概ね15以上	概ね25以上
	②新規患者数の直近 1 週間と前週の比 （今週/前週）	フェーズ 2 の目安を満たさない場合	概ね 1 以上	概ね 1 以上	概ね 1 以上
	③直近 1 週間の感染経路不明割合 （%）	フェーズ 2 の目安を満たさない場合	概ね20以上	概ね40以上 （岩手県の感染症対策専門委員会の意見を踏まえた数値の設定）	概ね40以上
フェーズ毎の態様（状況）		・患者発生は散発的 ・感染経路が負えない患者はほとんどいない	・患者発生が増加傾向にある ・感染経路が負えない患者が増えている ・クラスターが散発している	・患者発生が急増している ・感染経路が負えない患者が多数いる ・クラスターが多発している	・医療、保健所等の体制がひっ迫している ・フェーズ 3 の状態がさらに進行している 本市における非常事態^{※4}
市民へのお願い			基本的感染予防策 ^{※2} の徹底		
			・同居者（家族等）以外との接触を減らす ・不特定の者が集まる機会等の延期・中止又は開催方法の変更	・同居者（家族等）以外との濃厚接触 ^{※3} の回避 ・不特定の者が集まる機会等の延期・中止又は開催方法の変更 ・特定の者が集まる機会等は参加者間の接触を可能な限り減らす	・不要不急の外出自粛要請
市の取りうる対策の基本的な考え方		・基本的な感染防止対策の啓発	・市民一人一人の感染防止対策徹底の啓発	・催物等，人が集まる機会の人数制限，中止，延期等の協力の要請	・人流の抑制

※1 フェーズ 2・3 については、指標①②③を満たさなくなった後も 2 週間は継続する。
※2 基本的感染予防策とは、マスクの着用や手洗い（手指消毒も可）を徹底し、密集・密閉・密室（3 つの密）と大声の場面を回避すること
※3 濃厚接触とは、マスク等感染予防策なしに 2 メートル以上離れずに会話以上の接触をすること
※4 フェーズ 4 が 2 週間以上続く場合は県にまん延防止等重点措置等の要請を行う。